

今日は彼女との初デート日。さつき良い感じの居酒屋を退店し帰路についた。彼女の名前はミサキ。三日前にネットで出会った。今日は記念すべき日だ。

帰り道、どうしても行きたい店があるという。自身のバイト先ということだ。彼女のことをより深く知れると思いきや、それは誤った選択だった。

そのお店へは地下への階段を降りて、長い廊下のある扉の先だった。大きな扉の中は真っ黒の壁が取り囲む異様な空間だった。

そこで靴を脱いで。そしたら、遠慮しないで奥まで入っていいよ。  
ちやんと話はずいているからね。……あっ……リサさんこんばんは！

話によると、様々な悩みを解決できる凄いまじない師さんがいるお店らしい。  
リサさんというのが彼女の師匠に当たる人のようだ。



まじない師とかいうから、ちよつと身構えちゃったけど綺麗な店だね。  
でも恥ずかしい話、もう現金の持ち合わせがないんだけど、カードは使えるかな？

気にしなくていいよ。特にお金を支払ったりする必要ないから。  
ほら、そこにある茶色い椅子に座って！カウンセリングが始まるよ。



こんばんは。リサと申します。ミサキからどこまで聞いてるかな？  
私はあなたの「気」を読んでそれに合わせた治療を提案しているの。



その：よくわかってないです。あなたが凄い人だということぐらいしか聞いてません。実は今、特に悩みもないので失礼な話、治療とかできないと思うんですけど：

なるほどね。じゃ、とりあえず全て見させてもらおうね。  
診断に当たってお名前だけで聞いているんだけど、教えてもらえる？




あ：すみません。申し遅れました、シユウと申します。  
あの：見る：というのはどういうことでしょうか。

シユウさんですね。わかりました。では早速、見ていきますね。  
先程も伝えたように、気の流れを見てあなたの現状を診断します。



むむ：なるほど：：：：シユウさんは会社でトラブルを抱えておりますね？  
それが原因で家族とも疎遠になっているようですね。

うーん：あまり良くない気の流れですね……………  
今お時間あれば、これからすぐに治療できますが、どうしましょうか？



やってもらいなよ！私も時間あるし、終わるまで待ってるから。

え……えっと……それじゃお願いしようかな。  
治療というのはどんな感じなんですか？

わかりました。では準備しますね。  
治療は説明しづらいので、やりながら理解してください。



ではシユウさん、こちらのベッドにお洋服を全て脱いで横になってください。  
ああ、パンツは履いたままでいいですよ。仰向けでお願いします。

準備できましたか。あ、お洋服はそこに置いてください。  
こっちが頭、そっちが足です。……………そうです。

ベッドに書いてある印に合わせて、身体を広げてください。  
そうです。大の字に手足を開くイメージです。



うん：いい感じですね。まずはリラックスしましよーね。  
身体の力を抜いて……………そう……………あまり緊張しないでくださいね。

リサさん…いかがでしたでしょうか？彼…大丈夫そうでしょうか…？

うん…これなら計画通りできそうね。  
こんな逸材…なかなかいないんじゃない…？

あ……あの、なんの話してるんですか？ていうか治療はいつ始まるんですかね？

あら……ごめんなさいね。今すぐ始めますね。  
彼女には隣で見ている貫きますから、何かあったら教えてくださいね。





準備……あと少しで終わりますからね……  
もう少しだけリラックスしてお待ち下さいね。

あ………えっと………これは？  
今………何をしているんですか？



私が説明してあげる。今はね、身体を自由に動かさせないようにしているんだよ。施術中に勝手に動いちゃう人が多いからね。

そうそう。勝手な行動は施術の失敗にも繋がりますからね。身体を密着させたりもしますから、自由に動かれると困るんですよ。

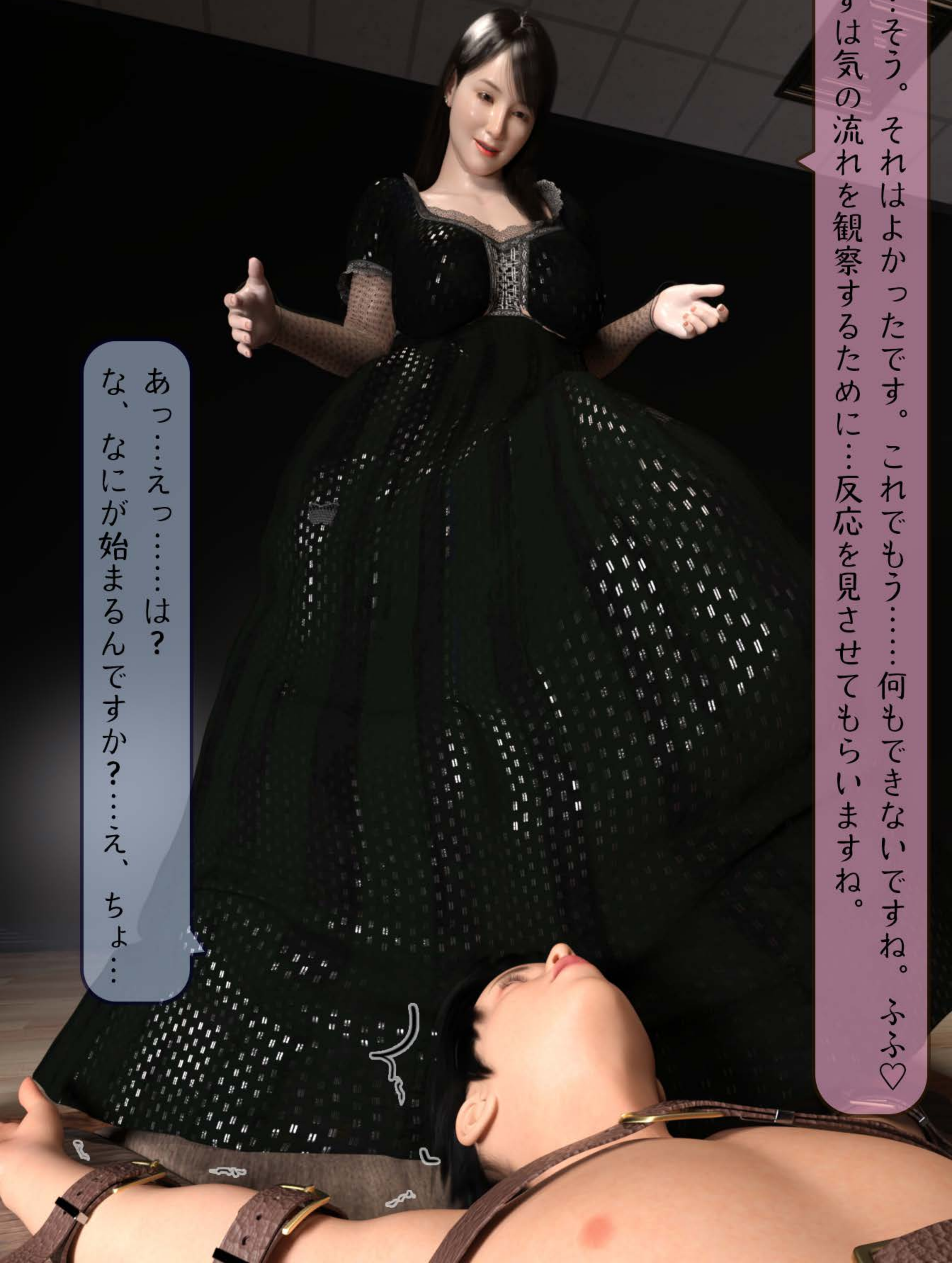
A woman in a black, long-sleeved, floor-length dress with a lace-like pattern stands over a woman lying on a table. The woman on the table is restrained with multiple brown leather straps with gold buckles on her arms, torso, and legs. Her hands are held in metal cuffs. The scene is set in a room with wooden floors and a dark background.

さ：てと、準備完了！シユウさん、身体は自由に動かさせますか？  
多少なら力強く動かそうとしてみてもいいですよ？

えっ……んっ……うーん……！！  
だ、大丈夫そうです。全く動かさせません。

……そう。それはよかったです。これでもう……何もできないですね。ふふ♡  
まずは気の流れを観察するために……反応を見させてもらいますね。

あつ……えつ……は？  
な、なにが始まるんですか？……え、ちよ……





まずは：神聖なる私の足から発散される汗と香りで身体の反応を見ます。  
一ヶ月間ずーっと洗っていない足の匂いを密閉空間で堪能しなさい。

えっ…あっ…スカートの周りに…うわっ…  
ぐっぐっ…臭い臭い臭い臭い…!!!

どうですか？私の足の匂い。臭いでしょう？いいんですよ。素直に苦しがつて。シユウさんの純粋な反応が一番大切です。ほら：：どうですか？ふふふ♡


あっ：：がふっ：：おっ：：おっ：：おっ：：うう  
臭い：：苦しい：：た：：助けてっ：：おえっ

あは♡いい反応ですね。これは壊しがいい……いえ、治療のしがいがあります。あなたのの中の悪い気を浄化するためには精神を一度壊す必要があるのです。

おえっ……おっ……もう……ダメ……助け……  
苦しいっ……ああ……おっ……うう……うう……

こういうのはどうですか？ムレにムレした私の足の裏を直接押し付けてあげます。  
あは♡面白い声。ほら：もっと苦しみなさいよ。もう逃げられないんだからね：

おごっ…ふぐう…やめてえ！お願い…  
痛いっ…うぶぶ…おっ…おおっ…おおっ…おっ



本当に苦しそうな声ですね。…そうだ♡もつと臭いのをあげます。  
なんだと思いますか？…それは、私のおならです。出しますよ？

おえっ…も…もう嫌だ…許して…  
おなら…嫌だ…おなら…嫌だ！

おんおん

ん

おんおん

שיימינג

מימי

שש

ほら：私のおなら：臭いでしよう？ここまで臭いおならって中々ないはずですよ。  
あはは♡ほらいっぱい吸い込みなさい。まだ始まったばかりですよ。

……おっ……げほっ……ごっ……  
んっ……んん！……ぶう……

るるる。

ん



あはは♡静かになっちゃいましたね♡ひよっとして気を失ってしまいましたか？  
私のおならは強烈ですからね。これから…たっぷり調教して差し上げますわ。


ごぼっ

.....





なかなか良い感じの男を連れてきたんじゃないの。  
本当に糞壺化しちゃっていいんだね？



もちろんです。そのために連れてきたんですから。  
この先の調教も見学していいですか？

ふふ♡わかったわ。徹底的にやらせてもらおうわ♡  
どんなふうにやってほしいとか：希望はある？



それはおまかせします！でも痛い系よりは苦しい系でお願いしますね。  
私、男の人がもがき苦しんでいる様子見ているのが一番好きなので。

ふふ♡わかった。まったく…この男も哀れね。  
ミサキに捕まってしまったことに同情しちゃうわ。


リサの放ったおならの凄まじい匂いのためか、男は気絶してしまった。それにより女性達は次の拷問の準備を始めていた。

ガチャリ：ガチャリ：と小さな金属をこすり合わせるような音。


男が目を覚ます頃には全ての準備が終わり、悪夢のような時間が始まるだろう。



よいしょ……えーと最後にこのクッションを取り付ければ終わりよね。  
これをはめ込むのってわりと力があるのよねえ……うーん……えいっ！

A close-up, high-angle shot of a woman with long, dark, wavy hair. She is looking down and to the right with a sad and contemplative expression. Her skin is illuminated by a soft, warm light, highlighting her features. She appears to be wearing a dark, possibly black, top. The background is dark and out of focus, suggesting an indoor setting.

それにしても薬にも暴力にも頼らずに男を失神させてしまおうなんて…  
リサさんはさすがです。私もいざれそのレベルまで行けるのかしら…？



なに言ってるのよ……ミサキだって同じようなことしてるじゃない。  
……概ね準備は整ったようね。それじゃそろそろ始めよっか。



ちよっと待っててください……この男の幸せそうな最後の表情を……  
もう少しだけ堪能させてください……うふふ♡……ふふふ♡……



でも早くしないと起きちゃうんじゃない？  
お目覚めの一発は私のおならでいいのかしら？ミサキがやる？

いえ、私ではなくリサさんお願いします。私は見ていたいです。  
それでは…ちゃんと設置できていますかチェックをお願いします。



えーと……頭の固定は完璧、角度もいい感じね。それに高さもちょうど良さそう。頭の左右の締め付けは、今回はどのくらいにした？



今回は七に設定しました。少し動ける方が私の好みですので。でもベルトは締め直したので、もう絶対に動けないと思います。

相手にちよつとだけ希望を与えるミサキのスタイル：私は残酷すぎると思うのよね：  
……あっ……首輪をつけ忘れてるみたい。それをつけければ完璧だと思うわ。



んふふ♡助からないのに助かりたいと願う顔が最高に萌えるんですよ♡  
首輪：忘れてました。すぐつけるので、リサさん準備お願いします。


ミサキの手によって拷問のための最後のパーツが取り付けられた。  
男の首に金属製の輪っかがとりつけられ、それは箱の下部に繋がれた。



ぎゅんぎゅんよ...



ふう：このミサキが作った椅子はやっぱり座り心地がいいわね。  
男の顔の上もいいんだけど、私はこういうのも好きよ。



それじゃ…恐怖の時間を始めましょうね。  
んっ…………ふうー……………んーっ……………んんっ！






……ごほっ……んぶっ……んおっ……  
ごほごほ……んぐ……こ……れは……？



あら……目が覚めたの？ シュウさんが寝ている間に準備は完了しました。  
調教……いえ、治療の第一歩として精神を壊させて頂くわ。

……ぐ……くさいっ……たすけてえ……  
やめて……おねがい……なんで……

おえっ  
んぐっ



一度受けた依頼は最後まで完遂させて頂くことにしているの。  
だから……もうお願いされても、絶対にやめないから覚悟をすることね。

い……いやだ……くさい……ミサキさん……  
そこいるなら……もう帰るって伝えて！


おえっ  
んぐっ

ミサキならそこにいるけど……これはミサキの意向を全面的に汲んでいるからねえ……だからやめるわけにいかないのよ。ね、ミサキ。どうしたらいい？

もちろん続けてください！……ね、シユウさん。最後まで頑張つて。ね？それにまだ始まったばかりよ……もう少し様子見て……チャレンジしてよ！

えっ……なんで……そんな…………ぶっおなら…………やめて…………たすけて……





ほら：：さらに臭そうなおならが出たわ。シユウさん、臭い？苦しい？教えて。  
これは調教：：いえ、治療の一環なんだから、あなたからの：：反応が大切なのよ。

おえっ……ぐさい……ぐるじい……  
もう……目が……痛くて……づらい……



体験版を最後までお読み頂きありがとうございました。

製品版では以下のような責めが続きます。

尻穴匂い責め・おなら責め・消臭強要・食糞・糞壺化

残り249ページ…ぜひお楽しみください。

